



中仙道 東 片 飛脚便 第37便

中町会ホームページ <http://nakachok.ai.hp.infoseek.co.jp/index.html> 中町会ニュース 平成21年7月23日発行 総務部

町会ニュース ” 飛脚便 ” 満6年迎える 町会ニュースにふるってご登場を!! 飛脚便編集委員会

“3号もつづけばいいんじゃない?”といった囁きも聞かれるなかでスタートしたこの町会ニュースですが、今号でちょうど満6年にもなりました。そこで、会長にも出席願った最近の編集委員会で「もっと皆さんに親しまれ、待たれるニュース」にしていくにどうしたらよいかを話し合い、およそ次のようなことに努力することにしました。

とにかくできるだけ多くの町会員にニュースにご登場をお願いします。テーマは自由とし(念のため別掲の通り参考テーマを例示)、実名で載せさせていただく。もしその号で載せられなくても次号には必ず掲載する。

気軽に意見をいえるように、例えば、役員会や部長会などで限られた時間のために発言できなかった人に、ニュースのうえで自由に意見を述べてもらい、さらに風通しのよい町会にしていく。

町会員が生活している地域のことを再発見するような記事を募ったり、取材したりして掲載することに努める。例えば、「わが町の文化財」「ここにこんな人が…」などといったことに目を向けていくことにする。

そうしたことが“あの記事読みましたよ!!”といった言葉が挨拶代わりになり、近所づきあいや顔見知りになるキッカケづくりの役に立ったり、町会員相互の連帯意識、自分たちの「町」を愛する意

識をはぐくんでいくことに繋がればと思います。

年齢、職業、意識、価値観も違う人々、それに高齢化、多忙、プライバシーの保持、不況といったことも重なって、町会活動が難しさを加えてきています。そのためにも、町会ニュースをとおして近隣との距離を縮めていきましよう。どうぞ、町会ニュースを「近くにある遠い存在」に止めず、町会員皆さんの力で育てていってくださることを切にお願いする次第です。

<テーマ参考例> 私のストレス解消法、私の健康法、私の趣味、生活の知恵、先日こんなことがありました お役に立てば...、日頃考えていること 町会に望むこと、町会はこんなことをしてみれば、町会活動についての感想・意見、町会役員会・部長会の持ち方など。



D級ポンプによる 消火訓練について

北村治夫(副会長・防災部長)

去る7月8日(土)13:00より水道局駐車場で町会員男女10余名の参加のもと、第三消防団員2名の指導をいただきながら一人ひとりが実際に各部署で器具に触れ実地訓練を行いました。

参加者よりたいへんよい経験を積んだとの声が寄せられました。これを契機にもう一度8月に放水を含めた訓練を行うことになりましたので、まだ消火ポンプ、ホース等を見たことのない方々、是非参加して実際に触れてみてください。女性の方も十分に操作できま



7月18日のD級ポンプ実施訓練

すので参加願います。

日時: 8月23日(日)

10:00~12:00頃まで

場所: 向丘高校裏グラウンド脇の道突当り(左側が大きな駐車場にはさまれた道路)

町会役員活動に、 参加ご協力を願う

総務部 沢井富雄(5班)

私は町会活動に携わって3年目に入りました。初めは防犯推進委員というもので、何をやる役かわからずに引き受け、その年末の夜警のお手伝いが最初の仕事でした。他に多くの方が参加されていましたが、失礼な言い方ですが、このような簡単な仕事でも体験してみると自分も町会の役に立っているのだとの思いが起きてくるものです。

その後この飛脚便の編集のお手伝いをするに、さらに総務部の仕事を担うことにと、どんどんと深みに入ってしまった。

しかしながら、大勢の方と知

り合い近隣とのお付き合いが広がる利点もあり、町会活動の内容がよく理解できること、役員の皆様が大変なご苦勞をされていること等、改めて学ぶことが多くありました。そこで感じたこととして、中町会の会員の皆様は一部の方のみが町会役員として、ご苦勞をされているのが現状で、他の町会員の方の応援が非常に少ないということです。(協力、団結に対する関心が希薄だと思いました)約200世帯も居住されているのに殆どが無関心と思えてなりません。普段の生活をするに於いての町会活動はあまり密接では無いとお考えがちですが、ゴミ出し等の生活に直結するような問題から、文京区の行政指導など、役所はすべて町会という単位で対応することが基本です。町会が無くなったら行政の案内、サービスは全く届かなくなり最後に困るのは、我々自身なのです。

会員の皆様、また非加入の方でも活動に参加して戴き、近隣とのお付き合いを密にさせていただくよう切望致します。

私の健康法

-無理せず継続が大事-

塚本 隆 (7班)

会社を退社し12年目になり、今年2月77歳になりました。

退社後は、家でテレビ、ラジオ、読書三昧で、2年で8kg太り、BMI(体重÷身長÷身長)25をオーバー、現役時のズボンはずべてはけなくなりました。これはいかんと運動をすることにしました。

歩く、泳ぐ、で時間を気にせず好きな時にできるだけ毎日実行するように心がけました。1年間で元の体重になり

体調も良くなりました。長続きするために歩数計を着け目標を立てることが良いと思います。

今年1年間で九州博多(東京博多役1200km)の距離を歩くことを目標に月100kmなるべく翌月に繰り越さないようにします。元日より6月末で約800km広島県尾道まで歩いたことになり、水泳も静岡県三島(120km)までの距離を目標に努力中です。無理せず体調と合わせて継続することが大事だと思います。

今後の行事予定

- 7月21-30日 誠ラジオ体操会：誠之小学校 五町会共催
- 7月25.6日13~15時 6中プール開放 向丘地区対
- 7月29日10時~ 町連.町会長会議：地域センター 会長
- 8月15.16日 富岡八幡祭礼：参加希望者 アルル館前集合
- 8月30日 10時~12時 総合防災訓練：小石川運動場
- 9月5日 19時半~ 第3回役員会：地域センター1階
- 9月13日 敬老の日70.71歳以上の方にお祝い品贈呈
- 9月21日 10時~ 根津神社祭礼：本殿町総代・会長
- 9月21-30日 秋の交通安全運動：本富士交通安全協会・区交通安全協議会
- 9月27日16~17時半 中町会「子供まつり」：水道局駐車場

新入会者のご紹介

2班 林 義明様

皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

「健診は健康の始まり」 文京区の無料健診 を受けましょう

今年も7月から文京区の無料健診が始まりました。40歳以上の区の国民健康保険に入っている方と75歳以上の方全員が対象です。「健診は健康の始まり」、必ず受けましょう。今秋冬は新型インフルエンザの流行が予想されています。今年は早目に受けおきましょう。

がん検診(胃がんと大腸がん)は区民40歳以上ならだれでも無料で受けられます。子宮がん(20歳以上)と乳がん(40歳以上)検診は今年偶数才の方が対象です。

諸会費・町会負担金支出状況

- 6月1日 H21年度向丘地区町会連合会 年会費 30000円
- 6月1日 向丘地区町会連合会役員宿泊研修会2名参加 26000円
- 6月1日 H21年度文京区町会連合会年会費 6000円
- 6月9日 文京区ラジオ体操会連盟年会費 2000円
- 6月21日 リサイクル清掃課バス見学会 2名参加 7000円
- 6月26日 誠ラジオ体操会 10000円
- 7月21日 H21年度本富士防犯協会年会費 5000円

火災報知機 電池切れにご注意!

一昨年町会からお配りした火災報知機がそろそろ電池切れの時期を迎えています。「チツ チツ」という小さな音で電池切れを知らせます。皆様のお宅ではもう鳴りましたか?まだお済でないようでしたら、必ず点検し電池交換するようにしてください。

6中のこれから

改築基本構想まとまる



長い間の懸案でした区立第6中学校の改築が、今年5月に発表された『文京区立第六中学校改築基本構想検討委員会報告書』によって、正式に決まりました。新校舎は、本郷通りに面して東西に35m、南北に50mの大きさの地上3階、地下1階、体育館、運動場、プール(3階に設置屋根は可動式)を備えた新校舎を建設とされています。改築予定スケジュールについては、今年9月に業者を決定し、順次、仮設校舎工事、既存校舎解体を進め、平成23年度年央から改

築工事を行い、同26年度下期までに完了することになっています。また、計画では「アカデミー向丘・向丘地域活動センターとの複合化」(新校舎内に併設する)を行うことになっています。今後、具体化していく過程でいろいろな問題が生じるものと予想されます。関心を持って経過を注視行くことにしましょう。なお、詳細を知りたい方は資料を中島会長が保管していますので、お問い合わせください(は会員名簿参照下さい)。(橋本)

リサイクル施設見学会に参加しました 牧野 矩子(5班)

今回の見学先は、神奈川県川崎市所在の(株)三栄レギュレータと(株)森永製菓鶴見工場でした。7月9日(木)に岩下さん(6班)と2人で参加しました。三栄レギュレータでは、古紙(書類やバインダーなど)が産業廃棄物を出さずにそっくり再生紙にリサイクルされるのを見学、環境の大切さとともに小さな紙切れでも貴重な資源になることを学びました。牛乳パック6枚でトイレトーパーが1個できること、ブドウ、バナナなど果物の皮からも杉の皮といった植物からもいろいろな紙ができることなど、見本を見せていただき感心しました。

森永製菓では、すべての作業がベルトコンベアーにのって人の手を入れることなく、最終の箱詰めまで自動で行われていました。これなら衛生的で安心してお菓子を食べられると思いました。たいへん参考になる良い機会でしたので、次回はテーマは変わるでしょうが他の方々もぜひ参加されることをお勧めします。